

2021年8月26日
日本貨物鉄道株式会社

西日本地区を中心とする大雨に伴う貨物列車への影響について (8月26日22時現在)

8月12日以降、秋雨前線停滞による大雨の影響により、西日本地区を中心に複数の区間で運転を見合わせております。このため、貨物列車の運休および遅延等が発生しておりますのでお知らせします。ご迷惑をお掛けして誠に申し訳ございません。

なお、詳細については、当社ホームページの「現在の輸送状況」も併せてご参照ください。

(下線部が前回リリース(8月25日21時現在)から更新した内容となります。)

1. 貨物列車の主な運転中止区間(別紙①地区参照)

- ・中央線 多治見駅(岐阜県多治見市)～塩尻駅(長野県塩尻市)間
- ・山陽線 新南陽駅(山口県周南市)～北九州(夕)(福岡県北九州市)間

※(夕)は貨物ターミナル駅の略

2. トラックによる代行輸送の実施について(別紙②参照)

19日より山陽線の運転中止区間において代行輸送を実施しています。

- (1) 広島(夕)～北九州(夕)
- (2) 広島(夕)～福岡(夕)
- (3) 新南陽駅～北九州(夕)
- (4) 新南陽駅～福岡(夕)

23日以降は、以下の区間においても代行輸送を実施しています。

- (5) 新南陽駅～宇部駅
- (6) 新南陽駅～下関駅

27日以降は、以下の区間においても代行輸送を実施します。

- (7) 岡山(夕)～北九州(夕)

28日以降は、以下の区間においても代行輸送を実施します。

- (8) 岡山(夕)～福岡(夕)

3. 定期船による代行輸送の実施について(別紙②参照)

26日以降は、以下の区間において代行輸送を実施します。

- (1) 東京(夕)～北九州(夕) (東京港～新門司港間 航路)

30日以降は、以下の区間においても代行輸送を実施します。

- (2) 隅田川駅～福岡(夕) (東京港～博多港間 航路)

4. 石油輸送について

中央線の運転中止に伴い、東海地区から東海道線経由、長野地区向けの臨時列車を3本運転しました。また、引き続き関東地区から長野地区向けの臨時列車を運転しています。

5. 今後の見通しについて

現在のところ、中央線の多治見駅から塩尻駅間は9月3日から運転を再開する予定です。また、山陽線については最短で9月上旬の運転再開見込みです。

8月26日22時現在の運転中止区間



山陽線 大雨に伴うトラック・定期船による代行輸送 (8月26日22時現在)

